

令和5年度第3回名寄市地域公共交通活性化協議会てん末

日 時：令和5年8月18日（金）
10時00分～10時40分
場 所：名寄市役所4階大会議室

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議事

(1) AI活用型オンデマンド交通の仕様等について

資料1

→事務局より資料を用いて説明。

→専門部会長より補足説明。

電話予約は排除しないことをお願いさせていただいた。高齢者は電話予約が多いことが想定されるが、いずれはスマホに切り替えてもらえるような誘導策を時間をかけて考えていただきたい。

自衛隊のことも議論になった。何千人と住んでいるため、設置してほしいという話もあったが、定額料金で運行するにはハードルもあるので、運行状況を見ながらコミットしていただきたい。

【質疑応答】

→室蘭の相乗りタクシーがうまくいっていないと記事が出ていた。ドライバーが少なく廃業した事業者があった話やアプリを使えない人が多く、電話予約が9割であったり、採算が取れないから本格実施を見送りすると書いていた。

西回りだけと話を聞いていたが、自衛隊の話やこれだけ乗降地点が分散されるとタクシー業界として今後の経営に危機感を感じる。お客様は定額で乗れるとなるとそちらを選ばれるため、地域の足を確保している我々からしたら危惧している。協力していけるところは協力したい考えもあるが、できることとできないこともあるので、もう少し議論していただきたい。(委員)

→この件はアドバイザーの知見を聞いている。お客様の取り合いになってはいけないとは考えており、料金、乗降ポイントや時間を見極めながら共存できる方法を模索していき、便利になりすぎないようにする。(事務局)

→時間などさまざまな条件設定ですみ分けできるようなシステムとする。(会長)

→先般の説明ではタクシーのお客様がいるところにはバス停を設けないという考え方もあったと聞いていたが、その辺は検討していただけているのか。(委員)

→まずはスタートしてどのような形がいいのか、利用者がどちらを選ぶか条件設定によって変わってくる。大きな課題と考えているので議論させていただきたい。乗降ポイントについてはまだ確定ではないが、市民の皆様からは現状バスが通っていないところに対しての意見もあるため、その点もご理解いただきすみ分けをしながら、特に大口のお客様のところをどうするか庁内の中で議論するが、おおまかな仕様としてはこの形でご理解いただきたい。(会長)

→地域によってはタクシー会社がなくなってしまったこともあるため、名寄はそうならないように協議していただきたい。(委員)

→ベストホームの利用客も多いが、乗降ポイントは設置しないのか。(委員)

→おっしゃるとおり利用客が多いと認識しているため、検討させていただきたい。(事務局)

→大まかに300m感覚に設置させていただいているので、その点もご理解いただきたい。(会長)

→3日前の予約となっているが、直前の予約はいつまで対応するのか。(委員)

→予約はリアルタイムできる仕組みだが、連絡してすぐ来るわけではない。(事務局)

→ドタキャンの対応策も検討したほうがいい。(委員)

→乗合じゃなく、1人の予約の場合でも運行するのか。(委員)

→予約状況によっては、1人の場合もある。(事務局)

→安いタクシーとして使われている場合もあるので、時間を決めて集約すること方策としてある。(委員)

→乗降ポイントの目印はどうするのか。見やすいように設置していただきたい。(委員)

→既存のバス停の他は市の街路灯にシールやプレート付ける検討している。街路灯の高い位置に付けることで降雪の対応も可能と考えている。(事務局)

4 その他

5 閉 会